G3 型「OFH7300」取扱説明書

OFISTAR H7300

はじめにお読みください

- 安全にご利用いただくために.....2
- 規制について.....14
- 環境について.....15
- 法律上の注意事項.....16
- 注意 / 制限事項について.....17
- オプションについて.....36

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista は、
米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標および商標です。
Adobe、PostScript、Adobe PostScript 3 は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。
CentreWare、DocuWorks は、富士ゼロックス株式会社の商標です。
その他の製品名、会社名は、各社の登録商標または商標です。

この取扱説明書のなかで⚠と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。

ご注意

① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら当社までご連絡ください。
④ 本書に記載されていない方法で本商品を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
⑤ 本商品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本商品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

安全にご利用いただくために

本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、OFISTAR H7300（以降、本商品と呼びます）を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。

お買い上げいただいた本商品は、厳しい安全 基準、環境基準に則って試験され、合格した商品です。常に安全な状態でお使いいただけるよう、下記の注意事項に従ってください。

⚠警告
新機能の追加や外部機器との接続など、許可なく改造を加えた場合は、保証の対象とならない場合がありますのでご注意ください。詳しくは、担当のサービスセンターへお問い合わせください。

各警告図記号は以下のような意味を表しています

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高いと思われる事項があることを示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があると思われる事項があることを示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容および物的損害の発生が想定される事項があることを示しています。

△記号は、本商品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、本商品を安全にご利用ください。

⃠記号は、行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。

●記号は、必ず行っていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。

電源およびアース接続時の注意

⚠警告

本商品を構内交換機（PBX）等に接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のサービス取扱所に確認してください。確認できない場合は、絶対に接続してお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。

万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため電源プラグから出ている緑色のアース線を必ず次のいずれかに取り付けてください。

- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを 850mm 以上地中に埋めたもの
- 接地工事 (D 種) を行っている接地端子

ご使用になる電源コンセントのアースをご確認ください。アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、当社のサービス取扱所またはお買い上げの販売店にご相談ください。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

- ガス管　(引火や爆発の危険があります。)
- 電話専用アース線および避雷針　(　落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。)
- 水道管や蛇口　(　配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。)

アースとの接続が不十分な場合、感電の原因となるおそれがあります。

万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、本商品には D 種以上の接地工事を必ず実施してください。

電源コードは、本商品近くのアースが確実に取れるコンセントに、単独で差し込んでください。延長コードは使わないでください。たこ足配線をしないでください。発熱による火災の原因となるおそれがあります。

電源接続に関してご不明な点がある場合は、当社のサービス取扱所またはお買い上げの販売店にご相談ください。

本商品の定格電圧値および定格電流値より容量の大きい電源コンセントに接続して使用してください。本商品の定格電圧値および定格電流値は、本商品背面パネルの定格銘板ラベルを確認してください。

電源プラグは絶対にぬれた手で触らないでください。感電の原因となるおそれがあります。

電源コードにものを載せないでください。

電源プラグやコンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、湿気などにより表面に微小電流が流れ、発熱による火災の原因となるおそれがあります。

同梱、または当社が指定した専用電源コード以外は使用しないでください。発火、感電のおそれがあります。

また、専用電源コードをほかの機器に使用しないでください。

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。

電源コードが傷んだら (芯線の露出、断線) 当社のサービス取扱所またはお買い上げの販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となるおそれがあります。

⚠注 意

電源コードには、延長コードは使わないでください。火災の原因となることがあります。

本商品の清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに本商品の清掃を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

本商品の電源スイッチを入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。アークによりプラグが変形し、発熱による火災の原因となるおそれがあります。

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。

連休などで長期間、本商品（ファクシミリ機能など）をご使用にならないときは、安全のために電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。なお、電源スイッチを切った場合は、ファクシミリによる受信ができなくなりますので、ご注意ください。

1 か月に一度は本商品の電源スイッチを切り、次のような点検をしてください。

- 電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれているか。
- 電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどはないか。
- 電源プラグやコンセントに細かいホコリが付いていないか。
- 電源コードにきれつや擦り傷などがないか。

異常な点にお気づきの場合はただちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、当社のサービス取扱所またはお買い上げの販売店にご連絡ください。

機械には、落雷によるサージ電流からの保護回路が内蔵されています。付近に落雷が発生したときは電源を切り、電源コードから外して、雷が収まるのをお待ちください。

設置時の注意

⚠警告

ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

本商品は、電源コードの上を人が踏んで歩いたり足で引っ掛けたりするような場所には設置しないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。

⚠注意

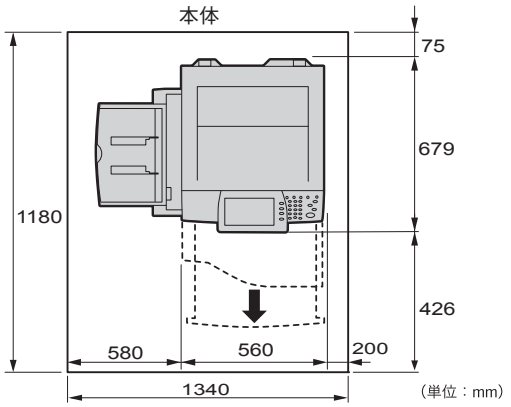
以下のような場所には本商品を設置しないでください。

- 発熱器具に近い場所
- 揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近く
- 高温、多湿の場所や換気が悪くホコリの多い場所
- 直射日光の当たる場所
- 調理台や加湿器のそばなど

本商品は、付属商品を含めた総質量 230kg に耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。本商品の転倒などによりケガの原因となるおそれがあります。

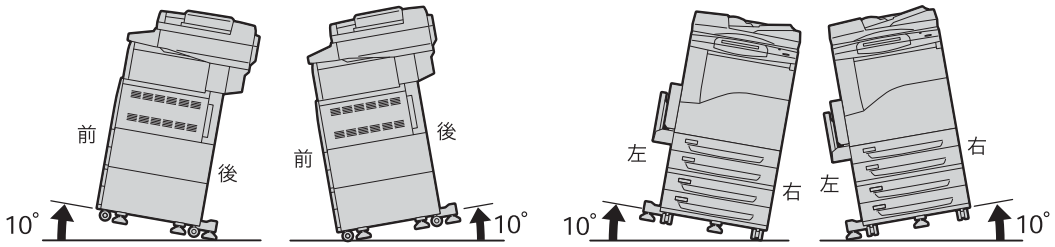
本商品には通気口があります。本商品の通気口をふさがないでください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となるおそれがあります。

本商品を安全に正しく使用し、本商品の性能を維持するために、次図の設置スペースを確保してください。また、機器の異常状態によっては、電源プラグをコンセントから抜いていただくことがありますので、設置スペース内に物を置かないでください。



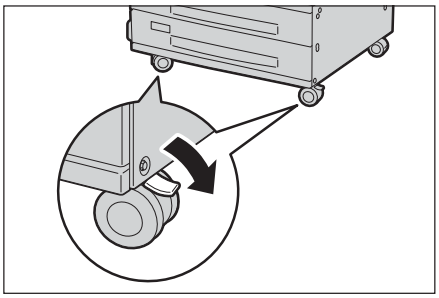
本商品を 10 度以上に傾けないでください。

転倒などによるケガの原因となるおそれがあります。



本商品を設置したあとは、キャスターに付いている移動防止用ストッパーを必ずロックしてください。

ストッパーをロックしないと、本商品が思わぬ方向に動き、ケガの原因となるおそれがあります。



その他

本商品の設置や配線工事および修理には、工事担任者資格が必要となる場合があります。無資格者の工事は違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。

設置する場所が交換センタから遠い場合、ご使用になれないことがありますので、設置や移動にあたっては当社のサービス取扱所にご相談ください。

本商品の使用環境は次のとおりです。

温度：10 ～ 32 ℃

湿度：15 ～ 85%

ただし冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、本商品内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。

本商品使用上の注意

⚠警告

この説明書に明記されていない作業は危険ですので、絶対に行わないでください。

この本商品はお客様が危険な箇所に触らないよう設計されています。危険な箇所はカバーなどで保護されていますので、ネジで固定されているパネルやカバーなどは、絶対に開けないでください。感電やケガの原因となるおそれがあります。

次のようなときにはただちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、当社のサービス取扱所またはお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると、感電や火災の原因となるおそれがあります。

- 本商品から発煙したり、本商品の外側が異常に熱くなったとき
- 異常な音やにおいがするとき
- 電源コードが傷ついたり、破損したとき
- ブレーカーやヒューズなど部屋の安全装置が働いたとき
- 本商品の内部に水が入ったとき
- 本商品が水をかぶったとき
- 本商品の部品に損傷があったとき

本商品の隙間や通気口に物を入れないでください。また、以下のものは、本商品の上に置かないでください。

- 花瓶やコーヒーカップなどの液体の入ったもの
- クリップやホチキスの針などの金属類
- 重いもの

液体がこぼれたり、金属類が隙間から入り込むと本商品内部がショートし、火災や感電の原因となるおそれがあります。

電気を通しやすい紙（折り紙 / カーボン紙 / コート紙など）を使用しないでください。ショートして火災の原因となるおそれがあります。

本商品の性能の劣化を防ぎ安全を確保するため、清掃には指定されたものをご使用ください。スプレータイプのクリーナーは、引火や爆発の危険がありますので、絶対に使用しないでください。

トレイを引き抜いて紙詰まり処理を行う場合には、当社のサービス取扱所またはお買い上げの販売店にご連絡ください。お客様自身で行うと思わぬケガをするおそれがあります。

付属の CD-ROM を CD-ROM 対応プレーヤー以外では絶対に使用しないでください。大音響により耳に障害を被ったり、スピーカーを破損するおそれがあります。

レーザーについて

注意：取扱説明書に書かれていること以外の、カバーを外すなどの操作はしないでください。レーザーの被爆の原因になるおそれがあります。失明、やけどなどの原因となるおそれがあります。

本商品は、レーザーの国際規格 IEC60825（Class 1 レーザー機器）に適合しています。このことはレーザー被爆の危険がないことを意味しています。レーザーは本商品内部で放射されますが、部品内部の漏洩防止筐体やカバーなどによって内部に閉じ込められています。したがって、お客様のご使用中にレーザーに被爆することはありません。

⚠注意

ドラム／トナーカートリッジの交換や紙づまりなどで開閉部などを開けるときには、突起物に引っかけたり、開閉部で手を挟むとけがの原因となることがありますのでご注意ください。

本商品に貼ってあるラベルの警告や説明には必ず従ってください。

特に「高温注意」「高圧注意」のラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。やけどや感電の原因となるおそれがあります。

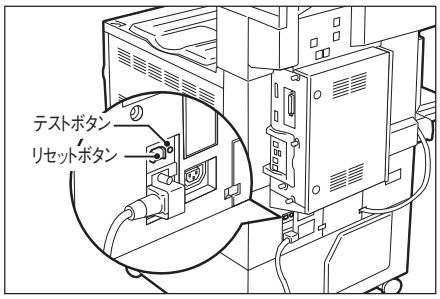
本商品の安全スイッチを無効にしないでください。本商品の安全スイッチに磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。本商品が作動状態になる場合があり、ケガや感電の原因となるおそれがあります。

本商品の本体には漏電ブレーカーが付いています。本商品に漏電が起こったときに、電気回路を自動的に遮断して漏電や火災などの事故を防ぐためのものです。通常は入っている状態にしておきます。1 か月に一度は漏電ブレーカーが正常に働くかを確認してください。異常などがある場合は当社のサービス取扱所またはお買い上げの販売店までご連絡ください。

なお、漏電ブレーカーの確認手順は次のとおりです。

1. 本商品の電源を切ります。
2. ブレーカーのリセットボタンを押し込みます。このとき、リセットボタンから手を離しても、リセットボタンが押し込まれたままの状態となります。
3. ボールペンなどの先のとがったもので、テストボタンを軽く押します。押し込まれていたリセットボタンが解除され、突き出ます。

   これで確認は終了です。



4. 再度、リセットボタンを押して、リセットボタンを押し込んだ状態に戻します。

本商品内部に詰まった用紙や紙片は無理に取り除かないでください。
特に、フューザー部やローラー部に用紙が巻き付いているときは無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。ただちに電源スイッチを切り、当社のサービス取扱所またはお買い上げの販売店にご連絡ください。

書籍などの厚手の原稿をコピーするとき、原稿を強く押さえないでください。原稿ガラスが割れてケガの原因となるおそれがあります。

本商品を移動するときは、当社のサービス取扱所またはお買い上げの販売店にご連絡ください。

換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量にコピーすると、オゾンなどの臭気により、快適なオフィス環境が保てない原因となります。換気や通風を十分行うように心がけてください。

本ラベル付近にある露出したコネクタには触れないでください。静電気の放電などで故障するおそれがあります。

その他

外部環境を検出して自動的に冷却ファンが回ることがあります。

ファクシミリの誤送信による迷惑電話を防止するため、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル等には、加入者番号（相手先の電話番号）を正しく登録してください。

キャッチホンサービスをご契約になる場合は、次の点にご注意ください。

- ファクスの送信や受信中に、他の方から電話がかかってくると、画像に線が入ったり、通信が中断してしまうことがあります。
- また上記の場合、電話がかかってきたことはこちらではわかりません。キャッチホンサービスの異常ではありませんので、ご了承願います。

手差しトレイをご使用にならないときは、確実に閉めてください。

本商品の外部電話接続端子（TEL）は、電話網の仕様と完全には一致していないため、接続される通信機器によっては正常に作動しないことがあります。

一般電話回線と本商品の間に、アダプタ（ナンバー・ディスプレイアダプタ、ターミナルアダプタなど）が接続された場合アダプタなどが一般電話回線の仕様と完全には一致していないため、本装置が正常に作動しないことがあります。

本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等外部要因によって、受信文書の全部または一部が消失したり、通話や録音などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本商品は、お買い求めのときには国内の相手の方と通信することを前提とした設定になっています。海外との通信を主に行われる方は、重要な通信を行う前に相手の方と正常に通信できるか確認してください。正常に通信できないときは、本商品の設定を変更することにより、通信できるようになる場合もありますので、当社のサービス取扱所へご相談ください。

操作ガイドを使用の際は、必ず取扱説明書をよく読み理解したうえでお使いください。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気付きの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけ下さい。

テレビやラジオ、こたつの上など磁気が発生する場所には設置しないでください。本商品が正常に動作しない場合があります。

テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用したタコ足配線はしないでください。火災、感電の原因となります。

時計表示は、あくまで目安としてご利用ください。なお、誤差が生じた場合は設定をやり直してください。

自動受信のコール回数を０回に設定した場合でも、接続する電話機の種類によっては鳴動する場合があります。

本商品の操作パネルの画面遷移は選択したボタンやタブにより時間がかかる場合があります。

消耗品取り扱い上の注意

⚠警告

消耗品は、箱やボトルにある説明に従って保管してください。

床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布などで拭き取ってください。掃除機を用いると、掃除機内部のトナーが、電気接点の火花などにより、発火または爆発するおそれがあります。大量にこぼれた場合、当社のサービス取扱所またはお買い上げの販売店にご連絡ください。

トナーカートリッジは、絶対に火中に投じないでください。トナーカートリッジに残っているトナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナーカートリッジは、必ず当社のサービス取扱所またはお買い上げの販売店にお渡しください。当社にて処理いたします。

電池は、明記されたものをご使用ください。明記された以外の電池と交換した場合、爆発の危険があります。使用済み電池は、取り扱い指示に従って処分してください。

⚠注意

「ドラムカートリッジやトナーカートリッジ」は幼児の手が届かないところに保管してください。幼児がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談し指示を受けてください。

「ドラムカートリッジやトナーカートリッジ」を交換する際は、トナーが飛散しないように注意してください。また、トナーが飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したり、または目や口に入らないように注意してください。

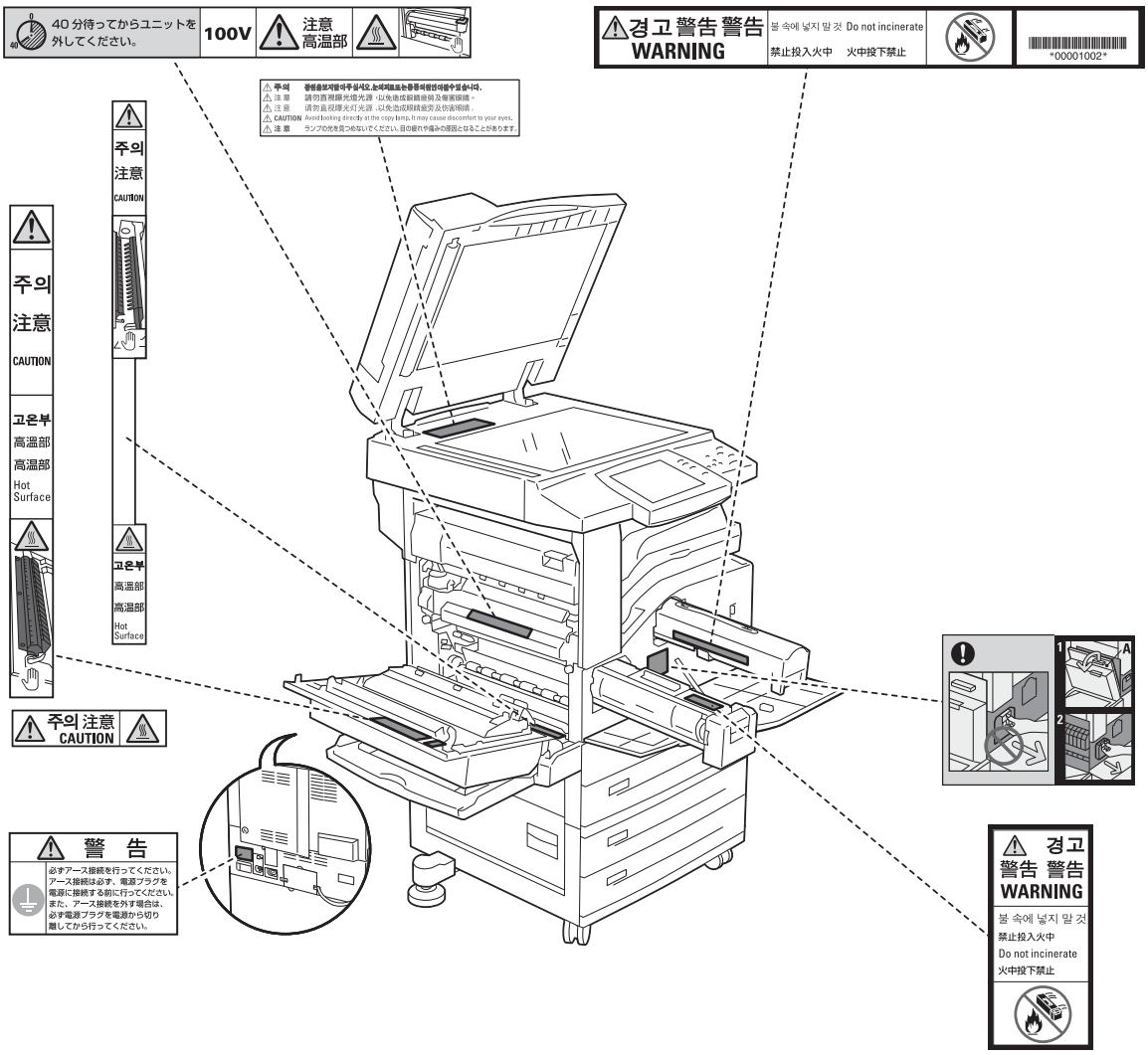
次の事項に従って、応急処置をしてください。

- トナーが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんを使って水でよく洗い流してください。
- トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで 15 分以上多量の水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- トナーを吸引した場合は、新鮮な空気のところへ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。
- トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだトナーを吐き出し、水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲んでください。すみやかに医師に相談し指示を受けてください。

警告および注意ラベルの貼り付け位置

本商品に貼ってあるラベルの警告や説明には必ず従ってください。

特に「高温注意」「高圧注意」のラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。やけどや感電の原因となるおそれがあります。



廃棄（または譲渡、返却）される場合のご注意

本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内に登録または保持されたデータの流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には本商品内に登録または保持されたデータを消去する必要があります。当社のサービス取扱所にご相談ください。

仕様

- 外観・仕様などは改良のため予告なしに変更することがあります。
- 一般の電話回線での通信速度は、回線の条件、状況等によって、33600bit/s の速度以下になる場合もあります。
- 伝送時間は２秒台です。

  ※伝送時間は、A４判 700 字程度の原稿を標準的画質（8 画素 /mm × 3.85 本 /mm）で高速モード（33600bit/s）で送ったときの時間です。これは画像情報のみの電送時間で、通信の制御時間は含まれておりません。なお、実際の通信時間は、原稿の内容、相手先の機種、回線状態により異なります。
- 直流抵抗値は 50Ω 以上～ 300Ω 以下です。

規制について

電磁波障害対策自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。

この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

受信障害について

ラジオの雑音、テレビなどの画面に発生するチラツキ、ゆがみが電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。

- 本商品とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
- 本商品とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
- この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
- 受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。(アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。)

ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

高調波自主規制について

本商品は JIS C 61000-3-2(高調波電流発生限度値) に適合しています。

環境について

- 当社は本商品の補修用性能部品（本商品の機能を維持するために必要な部品）を本商品本体の製造終了後 7 年間保有しています。
- 回収したトナーカートリッジおよびドラムカートリッジは、環境保護・資源有効活用のため、部品の再使用、材料としてのリサイクル、熱回収などの再資源化を行っています。
- 不要となったトナーカートリッジおよびドラムカートリッジは適切な処理が必要です。トナーカートリッジおよびドラムカートリッジの容器は、無理に開けたりせず、必ず当社または販売店にお渡しください。

法律上の注意事項

1. 本物と偽って使用する目的で次の通貨や有価証券を複製することは、犯罪として厳しく処罰されます。

- □ 紙幣（外国紙幣を含む）、国債証書、地方債証書、郵便為替証書、郵便切手、印紙。
  これらは、本物と偽って使用する意図がなくても、本物と紛らわしいものを作ること自体が犯罪になります。
- □ 株券、社債、手形、小切手、貨物引換証、倉荷証券、クーポン券、商品券、鉄道乗車券、定期券、回数券、サービス券、宝くじ・勝馬投票券・車券の当たり券などの有価証券。

2. 次の文書や記名捺印などを複製・加工して、正当な権限なく新たな証明力を加えることは、犯罪として厳しく処罰されます。

- □ 各種の証明書類など、公務員または役所を作成名義人とする文書・図面。
- □ 契約書、遺産分割協議書など私人を名義人とする権利義務に関する文書。
- □ 推薦状、履歴書、あいさつ状など、私人を名義人とする事実証明に関する文書。
- □ 役所または公務員の印影、署名、記名。
- □ 私人の印影または署名。

3. 著作権が存在する書籍、新聞、雑誌、冊子、絵画、図画、版画、地図、図面、写真、映像、映画、音楽、コンピュータープログラムなどの著作物は、権利者の許諾なく、次の行為はできません。

（1）複製　紙に定着させた著作物を複写機でコピーすること、磁気テープに記録した映像や音楽をダビングすること、電子的に読み取った著作物のデータをハードディスクや外部メディアに記録すること、記録した著作物のデータをプリンターで出力すること、ネットワークを介してダウンロードすることなど。

（2）改変　紙に定着させた著作物を加工や修正すること、電子的に読み取った著作物のデータを切除、書き換え、切り貼りすることなど。

（3）送信　電子的に読み取った著作物のデータを、公衆の電気通信回線（インターネットを含む）を通じてファクシミリや電子メールで送信すること、ホームページへの掲載など、公衆の電気通信回線に接続したネットワークサーバーに著作物のデータを搭載することなど。

権利者の許諾なく、複製・改変・送信したときは、使用の差止、損害賠償の請求、刑事罰を受けることがあります。ただし、次の場合は例外的に権利者の許諾なく著作物を複製することができます。

- □ 個人的または家庭内、その他これに準ずる生活範囲での私的な使用を目的とした複製。
- □ 国立図書館、私立図書館、学校付属施設、公立の博物館、公立の各種資料センター、公益目的の研究機関など、公衆利用への提供を目的とする図書館等における複製。
- □ 公正な慣行に合致し、報道・批評・研究など、目的に照らして、正当な範囲内での引用。
- □ 国または地方公共団体が発行する公報資料・調査統計資料・報告書の新聞・雑誌・その他刊行物への転載。
  ただし、複製禁止の表示がある著作物は除かれます。
- □ 学校教科書への掲載。
  ただし、権利者への補償金が必要です。
- □ 学校その他教育機関における複製。
  ただし、種類・用途・部数・態様に照らして、権利者の利益を不当に害しない範囲内に限ります。
- □ 試験問題としての複製。
  ただし、権利者への補償金が必要です。

注意 / 制限事項について

ここでは、本商品を使用するうえでの注意、および制限について説明します。

本商品使用上の注意 / 制限

■ハードディスクについて

- lpd、SMB、IPP からのプリントデータの格納先として、ハードディスクが指定できます。また、ART EX、ART IV、HP-GL/2（オプション）それぞれのフォームの格納先は、ハードディスク固定になります。ほかの領域には変更できません。
- ハードディスクの初期化によって消去されるデータは、追加フォント、ART EX、ART IV、HP-GL/2（Adobe PostScript 3 キットオプション）、ESC/P、PC-PR201H（Adobe PostScript 3 キットオプション）の各フォーム、ART IV ユーザー定義データです。セキュリティープリント文書、各ログは、消去されません。

■プリント結果が設定と異なるとき

プリントページバッファの容量不足が原因で、次のように、設定と異なる結果になることがあります。この場合、メモリーの増設をお勧めします。

- 両面の指定が片面でプリントされる
- ジョブが中止される（プリントページバッファに展開できない場合、そのページを含むジョブが中止されます）

■USB ポートを利用してプリントするとき

本商品が「スリープモード」のときは、USB ケーブルを接続していても、コンピューターは本商品を検知しないためプリントできません。「スリープモード」を解除してから USB ケーブルを接続し、印刷指示を行ってください。

■オプションについて

- 本商品を PostScript 対応プリンターとして使用する場合は、オプションの Adobe PostScript 3 キットの設置が必要です。
- HP-GL/2、PC-PR201H をエミュレートする場合は、オプションの Adobe PostScript 3 キットの設置が必要です。

■本体の設置 / 移動について

- 本体を移動する場合は、当社のサービス取扱所またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 本商品が作動しているとき、本体に衝撃を与えないでください。
- 原稿カバーを閉じるとき、指のはさみ込みに注意してください。
- 本体外部にあるファンの吸排出口の近くには物を置かないでください。

■両面プリントでのメーターのカウントについて

両面プリントする場合、使用しているアプリケーションによっては、部数を指定するときの条件などにより、自動的にページ調整の白紙を挿入することがあります。このときにアプリケーションが挿入する白紙出力は、カウントアップの対象となります。

■文字コードについて

- コンピューターから本商品にデータを送信する場合、ファイル名に本商品でサポートしていない文字が含まれていると、本商品で名称が正しく表示されないことがあります。
- 文書プリントのファイル名に日本語を使用する場合は、Shift-JIS を使用してください。ただし、次の文字が含まれるファイルは、本商品で表示されません。
  - NEC 特殊文字：0x8740-0x879C
  - NEC 選定 IBM 拡張文字：0xED40-0xEEFC
  - IBM 選定 IBM 拡張文字：0xFA40-0xFC4B
  - Apple 拡張文字：0x00FD-0x00FF、0x8540-0x886D、0xEB40-0xED96

■機能別カウンターレポートについて

ビルドジョブ機能を使用して、設定の異なる複数の［まとめて 1 枚（N アップ)］を指定した場合、最後に指定した［まとめて 1 枚（N アップ)］の設定に従って、機能別カウンターレポートに表示される［2 アップ]、[2 アップ以外］のページ数が計算されます。

例 1）

原稿 1（4 ページ）を［2 枚→ 1 枚（2 アップ)］出力、原稿 2（2 ページ）を［しない］と設定してコピーした場合、原稿 1、2 ともに［しない］として、次のようにページ数が計算されます。

- 総ページ数：4
- 2 アップ：0

例 2）

原稿 1（4 ページ）を［しない］出力、原稿 2（2 ページ）を［2 枚→ 1 枚（2 アップ)］と設定してコピーした場合、原稿 1 、2 ともに［2 枚→ 1 枚（2 アップ)］として、次のようにページ数が計算されます。

- 総ページ数：5
- 2 アップ：5

なお、［メータ確認］画面のメーターは、［まとめて 1 枚（N アップ)］の設定に関わらず、プリントされたページ数が正しく計算されます。

■ジョブフローの宛先について

本商品でジョブフローを作成するとき、宛先表に登録された短縮番号や宛先で指定した場合、ジョブフロー作成後に、宛先表の短縮番号や宛先を変更しても、ジョブフローに変更内容は反映されず、変更前の宛先に送られます。変更後の宛先に送りたい場合は、ジョブフローの宛先も変更してください。

■ジョブメモリーについて

ジョブメモリー登録後に、次の操作を実行すると、登録されたジョブメモリーが正しく呼び出せないことがあります。

- 親展ボックスを操作するジョブメモリーで、操作の対象となる親展ボックスのパスワードがジョブメモリー登録時と異なる場合
- 操作パネルの設定を変更した場合
- 登録ボタンに登録されている機能を変更した場合

- [仕様設定 / 登録] > [共通設定] > [コピー設定] > [プリセットボタンの設定] で内容を変更した場合
- 宛先表やジョブフローの一覧から選択する場合
- オプションの変更によりボタンが機能しなくなった場合
- mm、inch など単位設定を変更した場合
- ジョブ確認（保存文書）で文書一覧から文書を選択する場合

■白紙スキップ機能について

使用する原稿によって、白紙かどうかを判定する精度が異なります。たとえば、裏写りする原稿の場合には、白紙の原稿でも白紙として判定されないことがあります。

■プリントの順番について

本商品に蓄積されたジョブの数が約 130 以上になった場合、処理された順番とは異なる順番でプリントされます。

■スプールモード時のプリントについて

本商品の [受信バッファ] を [メモリースプール] または [ハードディスクスプール] に設定してプリントした場合、同じジョブ内の各ページは、ご使用のシステムで指定した順序でプリントされますが、たとえば 1 ページ 1 ジョブで複数のページをプリントするなど、異なるジョブ間のページは、意図した順序にプリントされないことがあります。この場合、[受信バッファ] を [スプールしない]（初期値）に変更してください。

割り込み時の注意 / 制限

出力中に〈割り込み〉ボタンを押すと、出力を一時中断して割り込み状態に入ります。

補足

・読み込み中のジョブがある場合は、出力中でも割り込みできません。

割り込み操作中に、実行できる / できないジョブは、次のとおりです。

ジョブ		操作パネルからの指示 *1	ジョブの実行
コピー		あり	○
プリント	クライアントから指示した文書 *2 のプリント	あり *3	○
	操作パネルの［ジョブ確認］>［保存文書］から指示した文書 *4 のプリント	あり	○
ジョブ		操作パネルからの指示 *1	ジョブの実行
ファクス	ファクス送信、同報送信	あり	○
	ファクスポーリング予約	あり	○
	ファクス受信プリント	あり *3	○
	ポーリング予約ボックス（操作パネルの［ジョブ確認］>［保存文書］）の文書のプリント	あり	○
ダイレクトファクス	ダイレクトファクス送信	なし	△

インターネットファクス	インターネットファクス送信	あり	○
	インターネットファクス受信プリント	あり *3	○
	インターネットファクス受信、インターネットファクス親展受信	なし	△
	インターネットファクス受信文書を一般ファクス機に転送	なし	△
	ファクス受信文書をインターネットファクス転送	なし	×
スキャン	ボックス保存、PC 保存、メール送信	あり	○
レポート / リスト	ジョブ履歴レポート以外の自動プリント	なし	×
	ジョブ履歴レポートの自動プリント	なし	○
	操作パネルの［メータ確認　レポート出力］>［レポート/リストの出力］から指示したレポート / リストのプリント	あり	○
親展ボックス	蓄積文書の自動ファイル転送、自動ファクス / インターネットファクス送信	なし	×
	蓄積文書（ファクス親展ポーリング予約文書 / ファクス親展受信文書/インターネットファクス親展受信文書）の操作パネルから指示したプリント	あり	○
	蓄積文書（スキャン文書 / プリント文書）の操作パネルから指示したプリント	あり	×
	蓄積文書の自動プリント	あり *3	○

○ 割り込み操作中に実行できる
× 割り込み操作中に実行できない
△ クライアントまたはほかのマシンからの要求は受け付けるが、割り込み操作中は実行しない
*1 ジョブを実行するために、本商品のタッチパネルディプスレイからの指示あり / なし
*2 通常プリント、サンプルプリントの最初の 1 部、時刻指定プリント (自動プリント)
*3 割り込み時に、［ジョブ確認］画面の実行待ちジョブに表示されている文書は、［優先］を押すことによってプリントできます。なお、割り込み中に優先プリントを指示した場合、指示したジョブのプリントが終了するまで、次の優先プリントの指示はできません。
*4 セキュリティープリント、プライベートプリント、サンプルプリント、時刻指定プリント、認証プリント

補足

・次のジョブは、割り込み操作とは関係なく実行されます。
- ファクス自動送信 (親展送信)
- ファクス受信

コピー機能使用上の注意 / 制限

■コピー機能について

本商品には、全面コピー機能はありません。

ファクス / インターネットファクス機能使用上の注意 / 制限

■ファクスの対応機能について

- ファクス機能は、以下の機能には対応していません。
  - ISDN 接続
  - G4 通信
  - 内線 / 外線切り替え
  - 中継同報の中継局機能
  - ワイルドカード（*）による全宛先指定
  - 増設回線での通話機能

■ファクス機能とインターネットファクス機能の相違点について

インターネットファクスでは、次の機能に対応していません。

- 手動送信
- ポーリング
- 中継同報
- 親展ボックスへの振り分け（ボックスセレクター）
- ダイレクトファクス

■通信機器の接続環境による制限について

お使いのネットワーク環境で、デジタル専用線を多重化している場合、以下のように通信が制限される可能性があります。

- 当社独自の通信手順を用いた機能が動作しない（送信先部数指定、中継同報、親展通信）。
- 伝送速度が制限される。
- SuperG3 による通信ができない。
- 工場出荷時の設定で通信エラーが発生する。

これらの動作制限は、多重化装置が音声使用を前提に、回線の使用帯域を限界まで制限しているために発生します。
また、加入電話回線と本商品の間に PBX や各種アダプタなどの装置を接続した場合には、本商品の仕様や機能が制限されることがあります。

■F コード通信で対応している機能について

F コード通信で対応している機能は、親展送信、親展ポーリング、親展受信、中継同報、リモート中継同報だけです。

■中継同報機能について

本商品には、中継指示局の機能はありますが、中継局の機能はありません。

本商品は G4 通信に対応していませんが、中継局が G4 通信に対応している場合は、中継同報指示として、中継局が行う G4 通信の機能を選択できます。

メール機能 / インターネットファクス機能使用上の注意 / 制限

■メール送信時のご注意

本商品の通信確認画面、通信管理レポート、モニターレポートに表示される「送信完了」は、本商品に設定したメール送信用の SMTP サーバーまで送信できたことを示します。メール送信では、インターネット網の途中経路の問題により、受信側にメールが到着しないことがあります。このような場合、本商品に対しては何も通知がありません。重要な内容を送受信するときは、電話などによる確認をお勧めします。

■インターネットファクス送信時の機能の組み合わせについて

- ［基本ファクス / インターネットファクス］画面の［送信画質］

  ［送信オプション］画面の［インターネットファクスプロファイル］で［TIFF-S］を選択しているときは、［超高画質（400dpi）］、［超高画質（600dpi）］は選択できません。

参照

・インターネットファクスプロファイルについては、CD-ROM 内にある『ユーザーズガイド』の「4 ファクス」>「インターネットファクスプロファイル（インターネットファクスプロファイルを指定する）」を参照してください。

- ［送信オプション］画面の［通信モード］

  ファクスゲートウェイ機能を使って送信するときにだけ通信モードを指定できます。それ以外のときは、G3 自動で送信されます。

参照

・ファクスゲートウェイ機能については、CD-ROM 内にある『ユーザーズガイド』の「4　ファクス」>「中継局を介してインターネットファクス を一般のファクスに送信する」を参照してください。

- ［読み取り方法］画面の［読み取りサイズ］

  ［送信オプション］画面の［インターネットファクスプロファイル］で［TIFF-S］を選択しているときは、A4 サイズ以上を指定しても、A4 サイズに縮小されて送信されます。

参照

・インターネットファクスプロファイルについては、CD-ROM 内にある『ユーザーズガイド』の「4 ファクス」>「インターネットファクスプロファイル（インターネットファクスプロファイルを指定する）」を参照してください。

■インターネットファクスプロファイルについて

- インターネットファクスプロファイルを指定するときは

  相手先によって、処理できるインターネットファクスプロファイルが異なります。インターネットファクスプロファイルを指定する場合は、相手先で処理できるインターネットファクスプロファイルを確認してください。

- 対応していないインターネットファクスプロファイルが指定されると

  インターネットファクスプロファイルの指定が異なると、受信側では、受信した画像を表示 / プリントできません。送信側、受信側で共に処理できるインターネットファクスプロファイルを確認して使用してください。

- 受信時に扱える TIFF ファイルとインターネットファクスプロファイル
  - TIFF ファイル形式：TIFF-FX（RFC2301）
  - インターネットファクスプロファイル：TIFF-S、TIFF-F、TIFF-J、TIFF-C

  対応していないインターネットファクスプロファイルを受信した場合は、ファイルをプリントできないことがあります。また、TIFF-C を受信すると、白黒でプリントされます。

- 同報送信時の送信条件について
  - 同報送信をする場合、インターネットファクス送信をする相手先と、通常のファクス送信をする相手先を混在させることもできます。この場合、インターネットファクスで送信する相手先にはメールが、通常のファクス送信をする相手先にはファクスが送信されます。
  - 同報送信する相手先ごとの送信条件が異なるときは、すべての宛先を次の設定にして送信します。

    ・送信モード :G3 自動

    ・インターネットファクスプロファイル :TIFF-S

    ・開封 / 配送確認：なし

■メール転送について

ファクス受信した画像が JBIG 圧縮形式の場合で、転送先のインターネットファクスプロファイルを TIFF-F に設定したときは、MH 圧縮方式に変換して転送します。また、インターネットファクスプロファイルが TIFF-S の場合、サイズと解像度はそのままの設定で転送されます。

■ファクスゲートウェイ機能について

この機能は、ファクス送信をするインターネットファクス対応機のメール受信方法が SMTP の場合にだけ使用できます。

メールをファクス文書に変換して送信する場合、相手先に正常に送信できなかったときは、受信した元のメールは削除されます。

参照

・ファクスゲートウェイ機能については、CD-ROM 内にある『ユーザーズガイド』の「4　ファクス」＞「中継局を介してインターネットファクス を一般のファクスに送信する」を参照してください。

■インターネットファクス受信時の用紙選択制限について

本商品は、メール受信時に添付されている TIFF ファイルが、RFC2301 および RFC3250 に記載された content-type で示されているか判断します。前記仕様と判断した場合は、FAX 受信としてイメージを再現するための用紙選択を行います。

インターネットファクスからの受信であっても、不一致と判断した場合は、用紙選択が正しく行われません。たとえば、送信側が A4 を送っている場合に、B4 にプリントされる現象が発生します。

使用条件によっては改善する場合がありますので、当社のサービス取扱所またはお買い上げの販売店にご相談ください。

■メールサーバーの制限について

システム環境（メールサーバーの制限など）によって、大きなサイズの電子メールを送受信できない場合があります。送信メールの分割サイズを設定するときは、送信側、受信側のシステム環境をそれぞれ確認してください。

送信メールを分割しても 1 ページ分のサイズが大きい場合は、送信画質や原稿の画質を変更してサイズを小さくしてください。

■ネットワークでの機密保持について

ネットワークでの機密保持については保証できません。

■メールのシステム環境の整備について

メールの送受信には、メールのシステム環境が整備されている必要があります。必要に応じて、SMTP、POP3、DNS サーバーなどの環境を整備してください。

■セキュリティに関するご注意

メールは、世界中のコンピューターとつながったインターネットを伝送経路として使用します。このため、一般的にインターネットで送信される電子メールなどの信号と同様に、第三者に盗み見られたり、改ざんされたりすることがないよう、セキュリティに関して注意が必要です。

したがって、重要情報に関しては、セキュリティが確保されているほかの方法を利用されることをお勧めします。また、不要メールの受信を防止するため、メールアドレスを、不用意に第三者に開示しないことをお勧めします。

■不要メールの受信防止について

本商品には、メールアドレスを知る外部の第三者から使用者のメールアドレス宛に送信される迷惑メールを防止する機能があります。

この機能は、受信を許可するドメインを指定することによって、送信元のアドレスを制限できます。

参照

・受信ドメインの制限については、CD-ROM 内にある『管理者ガイド』の「5 仕様設定」＞「ネットワーク設定」＞「その他の設定」＞「送受信ドメインの制限」を参照してください。

■メール受信時のご注意

送られてくるメールのデータによっては、メモリーが不足し、プリントできない場合があります。その場合はメモリーを増設するか、送信元に解像度を下げて送信するよう依頼してください。

■[データサイズ単位で分割] を指定したときのメール受信時のご注意

メールの分割方式を［データサイズ単位で分割］にした場合、デバイスで分割メールを受信しても復元して印刷することはできません。

■[データサイズ単位で分割] を指定したときのメール送信先に関するご注意

［データサイズ単位で分割］を指定した場合、Message Partial 規格に対応したメールソフトでメール受信を行うようにしてください。

インターネットサービスプロバイダーに接続する場合の注意 / 制限

本商品で、インターネットサービスプロバイダー（以下、ISP とします。）に接続し、メールまたはインターネットファクスに関連する機能を利用する場合に必要な情報について説明します。

本商品のメールに関連する機能は、次のとおりです。

- メールスキャン
- メール通知サービス
- メールプリント
- インターネットファクス

■ISP 接続に関する注意 / 制限事項

本商品を ISP に接続する場合、次のような注意 / 制限事項があります。

- ダイアルアップ接続はサポート対象外です。常時接続がサポートの前提になります。
- 本商品は、IP マスカレードを使用した環境で接続してください。本商品へグローバル IP アドレスを割り当てて接続する場合は、サポート対象外となります。
- POP 受信を行う場合には、必ず専用のメールアカウントの申請を行ってください。他のユーザーとの共用を行うとトラブルの原因になります。
- メール送信時には、必ず送信サイズ制限の設定を行ってください。適用可能なサイズは ISP によって異なりますが、小さめの値の設定をお勧めします。
- ADSL やケーブル接続でない常時接続も可能ですが、画像データの送受信は非常に負荷がかかります。
- SMTP 受信はサポート対象外です。本商品の運用は POP 受信だけになります。
- プライベートセグメントに、MTA（Mail Transfer Agent）を立てて運用している環境で設置する場合は、運用形態に合わせてください。
- 動作を保証している ISP については、当社営業担当者にお問い合わせください。
- POP 受信を行った場合、ファクスゲートウェイ機能を使用したファクス送信はできません。POP 受信の場合、メールで受信したインターネットファクス文書をファクス機へ転送する処理が行えないためです。

■機能詳細

メール関連機能の詳細は、次のとおりです。

- 送信機能

  対応プロトコル：SMTP

  ポート番号：25（初期値）

  送信時認証機能

  SMTP 認証機能：Plain と LOGIN に対応

  POP before SMTP：Plain と APOP に対応

  POP 認証後の待ち時間：変更できません。

  暗号化通信（SSL）：対応していません。

- 受信機能

  対応プロトコル：POP3

  POP3 ポート番号：110（初期値）

  POP3 の認証方式：Plain のみ対応（APOP には対応していません）

  POP3 受信後のメール処理：受信後は必ず、受信したメールをサーバーから削除します。サーバーにメールを残すように設定することはできません。

  通信路の暗号化（SSL）：対応していません。

補足

・IMAP4 には対応していません。

■IP アドレスの設定

本商品は、グローバル IP アドレスでの運用は保証していません。必ず IP マスカレードを使用した環境でご利用ください。

- 固定アドレスで運用する場合

  お使いのルーター、またはドメイン管理サーバー等の IP アドレスを管理するサーバーに、本商品で使う IP アドレスを登録します。

- DHCP で運用する場合

  設定は特に不要ですが、ルーターや DHCP サーバーの設定によっては登録が必要になる場合があります。お使いのルーターや DHCP サーバーの運用ルールをご確認ください。特に、MAC アドレスによる利用制限を行っている場合には、DHCP サーバー側への登録が必要になることがあります。

■操作パネルからの設定

メールスキャンを利用する場合は、本商品の操作パネルから、メール送信の上限データサイズを設定してください。上限値は、ISP のガイドラインを参照してください。推奨値は 1MB または 2MB です。

設定は機械管理者モードに入り、［仕様設定 / 登録］＞［仕様設定］＞［メール / インターネットファクス設定］を選択し、［メール送信動作制御］の［合計データサイズ上限］で行います。

参照

・設定方法については、CD-ROM 内にある『管理者ガイド』の「5 仕様設定」＞「メール / インターネットファクス設定」＞「合計データサイズ上限」を参照してください。

画像のサイズは次のサイズを目安にしてください。

- A4 フルカラー 200dpi 標準圧縮 : 約 700KB
- A4 フルカラー 200dpi 高圧縮 : 約 400KB
- A4 白黒 200dpi （文字原稿）: 約 25KB
- A4 白黒 200dpi （文字写真混在原稿）: 約 200KB

補足

・上記サイズはメール送信時のサイズです。実際のファイルサイズとは異なります。

■CentreWare Internet Services からの設定

CentreWare Internet Services から行う設定については、『管理者ガイド』の「6 CentreWare Internet Services の設定」＞「CentreWare Internet Services を使って設定する」を参照してください。

注記

・ISP に接続する場合、［POP サーバー確認間隔］は 10 分以上に設定してください。

SMB の注意 / 制限

SMB の注意 / 制限事項は、次のとおりです。

本商品側の設定

- IP アドレスはシステム全体で管理されているアドレスです。ネットワーク管理者と十分相談のうえ、設定してください。
- ネットワーク環境によっては、サブネットマスクやゲートウェイの設定が必要になります。ネットワーク管理者に相談のうえ、必要な項目を設定してください。
- ポート状態を［起動］に設定したとき、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に［停止］に設定されることがあります。この場合は、使っていないポートを［停止］にするか、メモリー割り当て容量を変更してください。
- 使用環境に応じて、受信バッファ容量［SMB（スプール）］のサイズを設定してください。送信されたデータより、受信バッファ容量［SMB（スプール）］のサイズが小さい場合、受信できないことがあります。

コンピューター側の設定

- IP アドレスはシステム全体で管理されているアドレスです。ネットワーク管理者と十分相談のうえ、設定してください。
- NIS（Network Information Service）の管理下で使用されているホストで、ネットワーク（IP アドレスなど）の設定を行う場合は、NIS の管理者に相談してください。

電源を切るとき

本商品の電源を切るときは、次の点に注意してください。

- ［SMB（スプール）］の設定が［メモリー］の場合

  プリント中のデータを含め、本商品のメモリーにスプールされたプリントデータは、すべて削除されます。再び電源を入れたときには、プリントデータはありません。

  ただし、プリント指示の直後に電源を切ると、プリントデータがコンピューター上に保存されることがあります。この場合、再び電源を入れたときに、新しくプリント指示が行われても、保存されているプリントデータから順にプリントされます。

- ［SMB（スプール）］の設定が［ハードディスク］の場合

  プリント中のデータを含め、本商品のハードディスクにスプールされたプリントデータはすべて保存されます。再び電源を入れたときは、新しくプリント指示が行われても、保存されているプリントデータから順にプリントされます。

- ［SMB（スプール）］の設定が［スプールしない］の場合

  プリント中のデータを含め、本商品の受信バッファにスプールされたプリントデータはすべて削除されます。再び電源を入れたときは、プリントデータはありません。

  ただし、プリント指示の直後に電源を切ると、プリントデータがコンピューター上に保存されることがあります。この場合、再び電源を入れたとき、新しくプリント指示が行われても、保存されているプリントデータから順にプリントされます。

プリント時

- ［SMB（スプール）］の設定が、［ハードディスク］または［メモリー］の場合

  プリントデータの受信を開始したときに、プリントデータのサイズがハードディスク、またはメモリーの残り容量より大きい場合、そのプリントデータは受信できません。

補足

・プリントデータが受信容量を超えた場合、コンピューターによってはすぐに再送信することがあります。このときコンピューターが停止したように見えます。対処として、コンピューター側でそのプリントデータの送信を中止してください。

- ［SMB（スプール）］の設定が［スプールしない］の場合

  あるコンピューターからプリント要求を受け付けていると、別のコンピューターからのプリント要求を受け付けできません。

- コンピューターの IP アドレスやコンピューター名を変更した場合

  コンピューターの IP アドレスやコンピューター名を変更すると、本商品側からの問い合わせ処理や取り消し処理が正常に行われなくなります。本商品の受信バッファにプリントデータがない状態で、電源を切って、入れ直してください。

補足

・本商品の受信バッファにあるプリントデータのプリント中止 / 強制排出は、本商品の操作パネルから操作できます。操作方法は、CD-ROM 内にある『ユーザーズガイド』の「12 ジョブ確認」を参照してください。

- 本商品がオフライン状態の場合

  本商品がオフライン状態のときに、コンピューターからプリントを指示すると、本商品ではデータ受信がされないで、コンピューター側には書き込みエラー発生のエラーダイアログボックスが表示されます。

SMB を使用してプリントする環境について

- Windows® 2000、Windows XP、Windows Server® 2003、Windows Vista® で使用している場合に、Unicode サポート設定を有効にすると、SMB 環境でプリントきません。
- Windows XP を使用している場合に、SMB ポートで印刷すると、ユーザー名が正しく表示されないことがあります。

SMB での認証について

認証サーバーを、IP アドレスまたはホスト名で指定して SMB 認証を行うと、ドメイン名は一致しなくても、ユーザー名とパスワードが一致しているだけで、認証に成功します。

TCP/IP の注意 / 制限

TCP/IP（LPD）での注意 / 制限事項は、次のとおりです。

本商品側の設定

- IP アドレスはシステム全体で管理されているアドレスです。ネットワーク管理者と十分相談のうえ、設定してください。
- ネットワーク環境によっては、サブネットマスクやゲートウェイの設定が必要になります。ネットワーク管理者に相談のうえ、必要な項目を設定してください。
- ポート状態を［起動］に設定したとき、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に［停止］に設定されることがあります。この場合は、使っていないポートを［停止］にするか、メモリー割り当て容量を変更してください。
- 使用環境に応じて、受信バッファ容量［lpd（スプール）］のサイズを設定してください。送信されたデータより、受信バッファ容量［lpd（スプール）］のサイズが小さい場合、受信できないことがあります。

コンピューター側の設定

- IP アドレスはシステム全体で管理されているアドレスです。ネットワーク管理者と十分相談のうえ、設定してください。
- NIS（Network Information Service）の管理下で使用されているホストで、ネットワーク（IP アドレスなど）の設定を行う場合は、NIS の管理者に相談してください。

電源を切るとき

本商品の電源を切るときは、次の点に注意してください。

- ［lpd（スプール）］の設定が［メモリー］の場合

  プリント中のデータを含め、本商品のメモリーにスプールされたプリントデータはすべて削除されます。再び電源を入れたときは、プリントデータはありません。

  ただし、プリント指示の直後に電源を切ると、プリントデータがコンピューター上に保存されることがあります。この場合、再び電源を入れたときに、新しくプリント指示が行われても、保存されているプリントデータから順にプリントされます。

- ［lpd（スプール）］の設定が［ハードディスク］の場合

  プリント中のデータを含め、本商品のハードディスクにスプールされたプリントデータはすべて保存されます。再び電源を入れたときに、新しくプリント指示が行われても、保存されているプリントデータから順にプリントされます。

- ［lpd（スプール）］の設定が［スプールしない］の場合

  プリント中のデータを含め、本商品の受信バッファにスプールされたプリントデータはすべて削除されます。再び電源を入れたときは、プリントデータはありません。

  ただし、プリント指示の直後に電源を切ると、プリントデータがコンピューター上に保存されることがあります。この場合、再び電源を入れたときに、新しくプリント指示が行われても、保存されているプリントデータから順にプリントされます。

プリント時

- ［lpd（スプール）］の設定が、［ハードディスク］または［メモリー］の場合

  プリントデータの受信を開始したときに、プリントデータのサイズがハードディスク、またはメモリーの残り容量より大きいときは、そのプリントデータは受信できません。

補足

・プリントデータが受信容量を超えた場合、コンピューターによってはすぐに再送信することがあります。このときコンピューターが停止したように見えます。対処として、コンピューター側でそのプリントデータの送信を中止してください。

- ［lpd（スプール）］の設定が［スプールしない］の場合

  あるコンピューターからプリント要求を受け付けていると、別のコンピューターからのプリント要求の受け付けができません。

- コンピューターの IP アドレスやコンピューター名を変更した場合

  コンピューターの IP アドレスやコンピューター名を変更すると、本商品側からの問い合わせ処理や取り消し処理が正常に行われなくなります。本商品の受信バッファにプリントデータがない状態で、電源を切って、入れ直してください。

参照

・本商品の受信バッファにあるプリントデータのプリント中止 / 強制排出は、本商品の操作パネルから操作できます。操作方法は、CD-ROM 内にある『ユーザーズガイド』の「12 ジョブ確認」を参照してください。

EtherTalk の注意 / 制限

EtherTalk での注意 / 制限事項は、次のとおりです。

プリンター名について

クライアントから識別されるプリンター名は、ネットワーク上で名前が重複しないようになっています。プリンター名を設定したときに、同じプリンター名が設定されている別のプリンターがネットワーク上に存在した場合、プリンター名は自動的に変更されて起動します。

＜名前変更の規則＞

プリンター名は、次のように変更されます。

- 名前の長さが半角で 31 文字以下の場合

  プリンター名の最後に、数字を付け加えます。数字を付け加えてもネットワーク上に同じプリンター名が存在するときは、付けた数字を 1 つ繰り上げます。

- 名前の長さが半角で 32 文字の場合

  プリンター名の最後の文字を、数字に置き換えます。最後の文字を数字に置き換えてもネットワーク上に同じプリンター名が存在するときは、置き換えた数字を 1 つ繰り上げます。

また、プリンター名が変更されて起動した状態で、CentreWare Internet Services の［プロパティ］タブ＞［プロトコル設定］を参照すると、変更される前に設定されていたプリンター名が表示されます。ただし、ネットワーク上では変更されたプリンター名で登録されているので、クライアントからは変更されたプリンター名で参照できます。プリンター名が変更された状態で、一度電源を切って、再度電源を入れた場合には、変更されたプリンター名で起動を試みます。この時に同じプリンター名を持つプリンターがネットワーク上に存在するときには、上記と同様にプリンター名を変更して起動します。

プリンター名は、ネットワーク上で名前が重複しないように設定してください。

ゾーン名について

ゾーン名は、CentreWare Internet Services の［プロパティ］タブ>［プロトコル設定］で設定できます。ただし、設定したゾーン名が、プリンターを接続するネットワーク上に存在しない場合は、自動的にデフォルトのゾーン名に変更されます。ゾーン名を設定する場合は、プリンターを接続するネットワーク上に存在するゾーン名を使用してください。

Bonjour の注意 / 制限

Bonjour を使用したときの注意 / 制限事項について説明します。

Bonjour を使用できる環境について

Bonjour は、Mac OS X 10.3.9、10.4.10 以降のプリンターセットアップツール (Print Center、Printer Setup Utility)、または Safari を使用している Macintosh コンピューターで使用できます。また、Bonjour のディスカバリー機能は、同一のサブネット内でだけ有効です。

プリンター名について

- 設定されているプリンター名、またはホスト名を変更すると、指定したプリンターとは別のプリンターからプリントされることがあります。
- プリンター名やホスト名が同一ネットワーク上で重複している場合、片方の名前の最後に数字を付け加えるなどして、名前が重複しないように自動的に変更します。
- プリンター名やホスト名を変更する場合、文字数や使用する文字の種類の制限から、指定した名前と別の名前で登録されることがあります。プリンター名やホスト名は変更しないことをお勧めします。

スキャンの注意 / 制限

スキャン機能使用時の注意 / 制限事項は、次のとおりです。

参照

・ネットワークスキャナードライバー、および親展ボックスビューワー 3 の注意 / 制限事項については、同梱されているドライバーCD キットの CD-ROM に入っている「Readme」を参照してください。

親展ボックスからの文書取り出し時

- ［文書取り出し後の削除］が［削除しない］に設定されている場合は、同一の文書に複数のクライアントがアクセスできます。
  ［文書取り出し後の削除］が［削除する］に設定されている場合は、同一の文書にアクセスできるクライアントは 1 台だけです。あるクライアントが読み込みをしている文書は、ほかのクライアントからは見えません。
  また、どちらの場合でもアクセス中の親展ボックスに対して、文書の追加はできます。
- CentreWare Internet Services によって取り出した場合は、［文書取り出し後の削除］の設定にかかわらず、文書は削除されません。

ネットワークスキャナードライバーと親展ボックスビューワー 3 の同時使用

1 台のコンピューターから、ネットワークスキャナードライバーと親展ボックスビューワー 3 を同時に使用して、本商品に接続することはできません。

複数のコンピューターで、ネットワークスキャナードライバーまたは親展ボックスビューワー 3 を使用して、同時に同じ機械から文書を取り出す場合は、最大で 3 台までです。

ほかのファクスからの親展ポーリング時

ほかのファクスから、本商品に親展ポーリングを指示された場合、スキャン文書は送信されません。

TIFF ファイル使用時

CentreWare スキャンサービス、または親展ボックスビューワー 3 を使用して作成された TIFF ファイルは、MMR 、MH、JBIG、または JPEG 圧縮方式で圧縮されています。TIFF ファイルを開く場合は、これらの圧縮方式に対応したアプリケーションソフトウエアを使用してください。

補足

・親展ボックスビューワー 3 では、JBIG で圧縮された TIFF ファイルは作成できません。

読み込み容量の制限について

1 ページの最大読み込み容量は、297 × 432mm です。定形サイズでは、A3 または 11 × 17 インチです。

読み込める原稿の枚数 (親展ボックス方式)

親展ボックス方式で、1 回の読み取り操作で読み込める原稿の枚数は、999 ページです。読み込める原稿の枚数は、原稿のサイズや解像度によって変化します。

SMB 環境でのネットワーク参照について

- Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista を使用している場合に、共有フォルダー以外の共有リソース（共有プリンターなど）が 256 個以上設定されていると、共有フォルダーリストに、共有フォルダー以外の共有リソースが表示されることがあります。

ネットワーク上のワークグループ名、サーバー名、共有名などを一覧表示すると、辞書順に表示されないことがあります。

インターネット / イントラネット接続の注意 / 制限

イントラネット / インターネット接続について

接続先の Web サーバーや、使用しているサーバーアプリケーション、プロキシサーバー、ファイヤーウォールの種類によっては、イントラネットやインターネットに接続できないことがあります。

他社から提供されているサーバーアプリケーションソフトウエア、プロキシ、ファイヤーウォールを使用して、イントラネット / インターネットに接続する場合は、次の条件が必要です。

- Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista 上で動作していること

- 次の条件に準拠していること
  - RFC2616: Hypertext Transfer Protocol HTTP/1.1 (通常接続 /SSL 接続 /Proxy 認証)
  - RFC2617: HTTP Authentication: Basic and Digest Access Authentication (Basic 認証だけサポート、その他の認証はサポートしない)
  - RFC2817: Upgrading to TLS Within HTTP/1.1
  - RFC2818: HTTP Over TLS
- HTTP/HTTPS スキームに対応していること
- GET/CONNECT/POST メソッドに対応していること

IPv6 接続の注意 / 制限

IPv6 接続時の注意 / 制限事項は、次のとおりです。

- マルチプレフィックス環境（IPv6 グローバルアドレスを複数扱う環境）では、本商品から外部ネットワークへの送信に失敗する可能性があります。
- マルチプレフィックス環境（IPv6 グローバルアドレスを複数扱う環境）では、登録されていないアドレスで通信されることがあります。
- 自動設定する IPv6 アドレス（IPv6 自動設定アドレス、IPv6 DNS サーバアドレス) には、取得した IPv6 アドレスが運用上使用できないアドレスが設定されることがあります。
  運用上使用できない IPv6 アドレスとは、サイトローカルアドレス（fec0::）や文書作成用アドレス空間（2001:db8::/32) のアドレスのことです。
- IP 動作モードがデュアルスタックで、IPv4/IPv6 ともに DNS 情報が設定されていて、FQDN で指定されている装置と通信するとき、本商品の起動直後には、IPv4 の DNS 情報が使用されることがあります。
- 本商品の IP アドレスとして表示されるアドレスが変わることがあります。
  たとえば、デュアルスタックモードで IPv4 アドレスと IPv6 アドレスのどちらか一方が表示されない、IPv6 アドレスの内容が変わるなどです。
- IPv6 ネットワークを使用して印刷した場合、ペーパーセキュリティーが正しく動作しません。
- IPv6 環境では、時刻サーバーとの同期はできません。IPv4 環境で時刻サーバーにアドレスを直接指定してください。
- IPv6 での印刷は、次のバージョンの OS でだけ動作します。
  ・Windows Vista
  ・Common Unix Printing System が IPv6 対応で印刷可能な Linux distribution
- WINS は IPv6 ネットワークでは通信できません。
- NetWare は IPv6 ネットワークでは通信できません。IPv4 で運用してください。
- SSL 通信に自己生成証明書を使用する場合、プリンタ URL の指定方法に、次の制限事項があります。
  (1)FQDN で指定する場合 (IPv4、IPv6 共通)
  自己証明書作成前に、デバイスのホスト名とドメイン名を正しく指定しておく必要があります。
  例：FQDN が csw.ipv6.domain.local の場合、ホスト名に csw、ドメイン名に ipv6.domain.local を指定する

(2)IPv4 アドレスで指定する場合
IPv4 モードまたはデュアルモードで作成した自己証明書をインポートしておく必要があります。

(3)IPv6 アドレスで指定する場合
Secure IPP（IPP-S）で通信ができません。

- Bonjour は IPv6 ネットワークでは通信できません。IPv4 で運用してください。
- 本商品で「IPv6 有効」かつ「IPv4 無効」が設定されている場合、スキャナー（PC 保存）の SMB 転送のネットワーク参照機能による格納先指定が使用できません。
- スキャンの FTP 転送時のファイル名には ASCII だけが使用できます。
- 次のような場合、同一機器のアドレスとして判断できないことがあるため、ユーザーが LPD でプリント支持をした印刷ジョブの状態確認(lpq)やキャンセル(lprm)を実施できないことがあります。
  1. 同一ホストで IPv4 と IPv6 を同時に動作させている場合
  2. 同一ホストで複数の IPv6 アドレスを同時に動作させている場合
- ジョブログにIPv6アドレスが正しく記載されないことがあります。IPv4で運用してください。
- SMBを使った検索でルーターを超える場合、あて先のアドレスを直接入力してください。マルチキャストに応答するのは、ローカルリンク内でのマルチキャスト(FF02::1) だけです。
- DNSサーバーが存在しないIPv6ネットワーク環境で、SMB認証のSMBサーバー設定にコンピューター名を指定すると認証に失敗します。認証サーバーのコンピューター名は、IPv6 アドレスを直接指定してください。
- DocuShareなどの外部アクセスサービスで、接続先URLにUPv6アドレスを指定すると正しく動作しません。IPv6 環境では DNS サーバーを運用し、接続先 URL を FQDN で指定してください。

UCC/EAN-128 バーコード (コンビニバーコード) 出力についての注意 / 制限

本商品のプリンタードライバーから「バーコードモード」を「する」を選択してプリントした場合、UCC/EAN-128 バーコード出力に適した条件でプリントされます。

ご使用にあたっては、以下の事項にご注意ください。

- バーコードの読み取り品質は、お客様の使用される環境、用紙、バーコード生成アプリケーションソフトウエア、バーコードリーダーの性能などにより、大きく左右されるため、本商品が正常な状態で印字されたバーコードであっても、バーコードの読み取りが保証されるものではありません。
- 本機能をご使用になる場合、事前に当社担当営業にお客様の使用環境の検証を依頼することをお勧めします。またバーコードの印字品質を維持するため、本商品の定期的な検査をお勧めします。
- バーコードモードを選択している状態で、バーコード以外のデータや文字などをプリントした場合、通常のプリントモードで印字した場合と比べ、画質が劣る場合があります。
- バーコードの印字品質を保持する為、本商品の印字スピードが通常より低下することがあります。
- 適切なバーコードの印字品質を維持するため、早めにドラムカートリッジ / トナーカートリッジ交換することをお勧めします。

- 黒色以外で印字されたバーコードは、想定された印字品質を満たさないことがあります。バーコード生成アプリケーションソフトウエアなど、ご使用環境の設定の変更が必要になる場合がありますので、ご注意ください。

コンピューターから操作する場合の注意 / 制限

■Macintosh について

- Macintosh 環境において、ダイレクトファクス機能、TWAIN スキャナードライバーを使用したスキャナー機能は使用できません。
- Mac OS X 10.3.9-10.4.11/10.5（10.4.7 は除く）用のプリンタードライバーでは、Plug-in を採用しているため、認証情報の設定、セキュリティープリント、サンプルプリント、時刻指定プリント、ボックス保存プリントなどが使用できます。
- 上記以外の Plug-in を採用していないプリンタードライバーでは、認証情報の設定、セキュリティープリント、サンプルプリント、時刻指定プリント、ボックス保存プリントなどが使用できません。
- Mac OS X 10.3 または Mac OS 9 で、奇数ページの文書を両面出力すると、最後のページのあとに白紙ページが追加されて、白紙ページ分もメーターにカウントされます。

認証 / 集計管理機能使用上の注意 / 制限

■認証 / 集計する場合の注意 / 制限事項

- 「認証しない」モードで親展ボックスを作成した後に、「認証する」モードに変更すると、一般共有ボックスが使用できなくなります。「認証する」モードにした後に、個人ボックスを作成してください。
- 「認証する」モードでは、個人ボックス、管理者共有ボックスが作成できます。一般共有ボックスは作成できません。

■本体認証時の UserID について

- ［認証 / セキュリティ設定］＞［認証の設定］＞［認証情報の設定］＞［認証時の UserID 文字種］の設定を変更すると、変更前に登録していたユーザー情報が削除されます。またユーザーに関連づけされている親展ボックス、ジョブフローも削除されます。
- ［認証 / セキュリティの設定］＞［認証情報の設定］＞［認証時の UserID 文字種］を［大文字小文字を区別しない］に設定した場合、UserID は全て大文字になります。そのため、表示やレポートもすべて大文字になります。

■ジョブ操作の設定に関するご注意

［仕様設定］＞［認証 / セキュリティ設定］＞［ジョブ操作の設定］で、ジョブの表示をしない設定にした場合、自分が実行したジョブを止めたり、削除することができなくなります。そのため、コピー誤操作やファクス誤送信の場合でも、自分でジョブをキャンセルできません。

オプションについて

機能について

OFISTAR H7300 では、富士ゼロックス社の ApeosPort-III 4000/3010 の機能は使用できません。

使用できない主な機能は次のとおりです。

- リモート宛先表
- ジョブフロー
- ジョブテンプレート
- ボックスジョブフローの一部機能
- ソフトウエア連携
- サービス連携
- Authentication Gate
- オンデマンドプリント
- イメージログ
- 外部アクセス
- 外部認証
- スキャナー（メール送信）/ インターネットファクス の S/MIME 設定
- スキャン PKI の暗号化と署名

オプション製品について

お使いの機種によって、提供しているオプションや、標準装備しているものが異なります。提供しているオプションは、次の表のとおりです。

●標準
○オプション
×提供なし

商品名	説明	OFISTAR H7300 35/ OFISTAR H7300 45
自動原稿送り装置	複数枚の原稿を自動的に送り込む装置です。	●
1 段給紙トレイ	用紙トレイを 1 段分追加して、用紙トレイ 4 として使用できます。	●
両面出力ユニット	用紙の両面にプリントする装置です。	●
インナーオフセット排出ユニット	インナー排出トレイと同時に装着すると、センタートレイを2段に分けて排紙できるようになります。	●
スキャナーキット	スキャナー機能が利用できるようになるキットです。	●
E メールキット	メール機能が利用できるようになるキットです。	●
プリンターキット	プリンター機能がない場合、プリンター機能が使用できるようになります。	●

商品名	説明	OFISTAR H7300 35/ OFISTAR H7300 45
ファクスキット	ファクス機能が利用できるようになるキットです。	●
増設メモリー（512MB）	システム用のメモリー容量を512MB 増量できるメモリーです。	●
機能拡張キット（HDD）	コピー機能の拡張やプリンターのスプール機能が利用できるようになるキットです。	●
ファクシミリ用 OP「36」インナー排出トレイ	センタートレイを 2 段に分けて排出できるようになります。	○
ファクシミリ用 OP「36」サイドトレイ	用紙のおもて面を上にして排出できるトレイです。	○
ファクシミリ用 OP「36」ファクスポート増設キット	回線の増設に必要なキットです。	○
ファクシミリ用 OP「36」G3 増設ポートキット	G3 回線を増設します。	○
ファクシミリ用　OP「36」USB2.0 メモリープリントキット	USB メモリーの文書を本商品~~本機~~で直接プリントできるようになります。	○
ファクシミリ用 OP「36」インターネット FAX キット	インターネットファクス機能が利用できるようになるキットです。スキャナーキットスキャナー機能が利用できるようになるキットです。	○
ファクシミリ用 OP「36」IP ファクス（SIP）キット	IP ファクス（SIP）機能が利用できるようになるキットです。	○
ファクシミリ用 OP「36」データセキュリティキット	ハードディスクに書き込まれたデータのセキュリティーを強化するためのキットです。	○
ファクシミリ用 OP「36」IC Card Gate2 セット	IC カードを利用できるようになります。	○
ファクシミリ用　OP「36」PostScript3 キット（平成３書体）	平成 3 書体の PostScript 3 キットです。	○
ファクシミリ用　OP「36」PostScript3 キット（モリサワ２書体）	モリサワ 2 書体の PostScript 3 キットです。	○
ファクシミリ用 OP「36」サーチャブル PDF キット	スキャンで文字認識（OCR）を利用できるようになるキットです。	○
ファクシミリ用 OP「36」イメージ圧縮キット	スキャナー（メール送信）、スキャナー（PC 保存）機能を使用する場合に、高圧縮の DocuWorks や PDF が作成できます。	○
ファクシミリ用 OP「36」イメージ拡張キット	イメージログ管理機能を利用するのに必要なキットです。	○
大容量給紙トレイ（1 段）	用紙を 2,300 枚（当社 P 紙）セットできる用紙トレイです。	×
フィニッシャー A1	プリントやコピーした用紙に、ホチキス留めをして排出する装置です。	×
フィニッシャー B1	プリントやコピーした用紙に、ホチキス留めをして排出する装置です。	×
フィニッシャー B1 中とじユニット	プリントやコピーした用紙に 2 つ折りの折り目をつけたり、折り目をつけたものにホチキス留めをする装置です。	×

商品名	説明	OFISTAR H7300 35/ OFISTAR H7300 45
フィニッシャー B1 パンチユニット 2/3 穴（US 規格）	プリントやコピーした用紙に、2/3 穴のパンチ穴を開けて排出する装置です。	×
フィニッシャー B1 パンチユニット 2/4 穴（JIS 規格）	プリントやコピーした用紙に、2/4 穴のパンチ穴を開けて排出する装置です。	×
フィニッシャー C1	プリントやコピーした用紙に、ホチキス留めやパンチ穴を開けて排出できる装置です。	×
中とじフィニッシャー C1	プリントやコピーした用紙に、ホチキス留めやパンチ穴を開けて排出できる装置です。	×
ハンドセット	通話のときに使用します。	×
エミュレーションキット	エミュレーションの FXPDF、HP-GL/2、PC-PR201H、PCL でプリントできるキットです。	×
通過スタンプキット	ファクス送信するときに、自動両面原稿送り装置で読み取った原稿にスタンプを押すキットです。	×
アノテーションキット	コピーする用紙に、原稿には記載されていないスタンプや日付、ページ番号を印字できるようになります。	×
複製管理拡張キット	ページ全体に日時や番号を印字することによって、機密文書などの複写を抑止するためのキットです。	×
ペーパーセキュリティーキット	文書に複製抑制の情報を埋め込み、文書の複製を制限して、セキュリティー管理をするためのキットです。	×
イメージログキット	本商品で実行されたジョブの文書のイメージに、ジョブの利用者、利用時刻、部数などのジョブログを付加して、蓄積/ 管理するためのキットです。	×
イメージログキット（Adobe PostScript 3）	本商品で実行されたジョブの文書のイメージに、ジョブの利用者、利用時刻、部数などのジョブログを付加して、蓄積/ 管理するためのキットです。	×
パラレルポート	パラレルポートが使用できるようになります。	×

補足

・お使いの商品に装着されているオプションについては、次の操作で確認できます。〈機械確認（メーター確認）〉ボタンを押して、［機械状態 レポート出力］＞［機械構成］を押します。詳しくは、『使い方がわかる本』の「こんなときには」「共通のこと」「オプション機能」をご覧ください。

保守サービスのご案内

● **保証について**

保証期間(１年間)中の故障につきましては､｢保証書｣の記載にもとづき当社が無償で修理いたします｡(詳しくは｢保証書｣の無料修理規定をご覧ください｡)

● **保守サービスについて**

保証期間後においても､引き続き安心してご利用いただける｢定額保守サービス｣と､故障修理のつど料金をいただく｢実費保守サービス｣を提供いたしております｡実費保守サービスでは故障内容によって､高額になる場合もあります｡また､毎月のプリント数(ご利用枚数)に応じた保守料金をいただく｢カウンタ保守サービス｣を提供しております｡

保守サービスの種類は

定額保守サービス	・ 毎月決められた料金をお支払いいただくことで、装置の定期点検、故障時の修理、定期交換部品の交換など、装置の性能維持に必要な保守サービスを行います。 ・ 定額保守サービスには、サービス内容により以下のような種別があります。 ・ A コース：　毎月の定額料金のみで、定期点検を含む保守サービスを提供いたします。 ・ C コース：　定期点検を除く保守サービスを提供いたします。
実費保守サービス	・ 定期交換部品の交換、故障時の修理などに要した費用をそのつどいただきます。 ・ お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術費用・部品代をいただきます。 ・ 故障内容によっては、高額になる場合もありますのでご承知願います。 ・ 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちの場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要になります。
カウンタ保守サービス	・ お客様に毎月のプリント数（ご利用枚数）に応じた保守料金をいただくサービスです。 ・ トナー、ドラム、部品の交換・調整に必要な費用は、カウンター料に含まれています。 ・ カウンターは１プリント（コピー・プリントアウトまでを含む）作業ごとに１カウント進みます（両面プリントは２カウント進みます)。

● **故障した場合のお問い合わせは**

局番なしの113番へご連絡ください。

● **お話中調べ**

局番なしの114番へご連絡ください。

● **その他**

定額保守サービス及びカウンタ保守サービスに関するお問い合わせについては､NTT 通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください｡(エリアによって､ご提供できる保守サービスの種類が異なります｡)

NTT通信機器お取扱相談センタ

■NTT東日本エリア(北海道､東北､関東､甲信越地区)でご利用のお客様

お問い合わせ先:0120-970413

携帯電話･PHS･050IP電話からのご利用は03-5667-7100(通話料金がかかります)

受付時間　9:00～21:00

※年末年始:12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア(東海､北陸､近畿､中国､四国､九州地区)でご利用のお客様

お問い合わせ先:0120-248995

携帯電話･PHSからも利用可能です。

受付時間　9:00～17:00

※年末年始:12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように､ご注意願います。

● **補修用部品の保有期間について**

この商品の補修用性能部品(商品の性能を維持するために必要な部品)を､製造打ち切り後､7年間保有しております｡

OFISTAR H7300

はじめにお読みください

発行年月－2009 年10 月　　第 1 版

(帳票番号 :DE4360J9-1)

Printed in China

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：http://web116.jp/ced/
http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

NTT

© 2009 NTTEAST・NTTWEST
本3097-1(2009.10)
i3-<OFH7300>-FAXトリセツ
1版　2009年 10月　帳票番号：DE4360J9-1　部番：897E53990